

令和5年度 事業報告

令和5年度の熊野市シルバー人材センターの事業運営につきましては、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に変更され、行動制限が無くなり、各地で様々な行事が再開されるなどコロナ禍以前の日常生活を取り戻しつつあるなか、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、会員自らが「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり、元気に活動し、地域社会に貢献するセンター運営を目指して、会員と役職員が一丸となってこの1年間活動を進めてまいりました。

組織運営では、定時総会については、人数制限をすることもなく、4年ぶりに通常通りに開催することができました。また、理事会についても、予定どおりに開催することができました。

会員の拡大については、定年延長、再雇用制度などの拡充により新しい会員を増やすことが難しい状況になってきている中、「一人一会員入会運動」の推進や入会相談日の開設、シルバーだよりや広報くまの等の媒体を通じて入会促進に取り組みましたが、会員の拡大にはつながりませんでした。

就業機会の開拓と提供については、未就業会員の就業促進、一会員一仕事の紹介運動に取り組みましたが、繁忙期に草刈り、剪定作業等に従事する会員が少なく、個人、民間事業所、官公庁等からのすべての受注に対応することができず、受注件数、契約金額の減少となってしまう就業の拡大につなげることができませんでした。

安全・適正就業については、「安全はすべてに優先する」ことを基本に据え、会員の就業時及び就業途上の事故防止や熱中症予防など健康意識の高揚と周知徹底に取り組みました。本年度は、作業中に蜂に刺され病院を受診する傷害事故が2件、草刈り作業中に水道管を破損する賠償事故が2件発生しました。

適正就業では、国の適正就業ガイドラインを遵守するとともに、「適正就業基準に関する要綱」に基づき会員に対し安全で公平な就業の機会の提供に努めました。

センターの財務運営では限られた財源の中で、事務の効率化と経費の節減等を徹底し、健全なセンター運営に努めました。

令和5年度に実施した主な事業と概要は、次のとおりです。

1 組織体制の強化

(1) 理事会の開催

センター事業運営の中核である理事会（理事7名、監事2名）を開催し、情報の収集や現状把握の上に立った方針の決定や計画立案等の討議を重ね、業務遂行に努めました。

	開催日	協 議 内 容
第1回理事会	4月25日	① 令和4年度事業報告の承認について ② 令和4年度収支決算の承認について 監査報告 ③ 令和5年度定時総会の招集（案）の承認について
第2回理事会	5月27日	① 代表理事の選定について
第3回理事会	9月26日	① 報告事項 ② 職員給与規程の改正（案）について ③ 令和5年度第1次収支補正予算（案）について ④ 令和5年度「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」による「シルバーの日」のボランティア活動及び普及啓発活動の実施について
第4回理事会	3月22日	① 報告事項 ② 令和5年度第2次収支補正予算（案）について ③ 令和6年度事業計画（案）について ④ 令和6年度収支予算（案）について ⑤ 役員賠償責任保険の加入について ⑥ 利用料金の一部改定について

(2) 定時総会の開催

定時総会は、一人でも多くの会員に参加していただき、センター事業運営について情報共有し、会員の意思が反映できる唯一の機会であります。5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に変更され、自粛要請もないことから通常通りの開催案内をし、会員28名の出席があり、委任状提出は44名でした。

開催日	場 所	内 容
5月27日	熊野市林業会館	議 事 ① 令和4年度事業報告の承認について ② 令和4年度収支決算報告の承認について 監査報告 ③ 役員選任について 報告事項 ① 令和4年度収支補正予算について ② 令和5年度事業計画について ③ 令和5年度収支予算について

(3) 諸会議・研修会等

諸会議、研修会等については、パソコンを使用したリモートシステム（Zoom）により参加をしました。

月 日	内 容	備 考
4月20日	4月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
5月9日	第1回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
5月16日	5月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
6月14日	県シ連令和5年度定時総会	津市 欠席 県総合文化センター
6月20日	6月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
6月21日	インボイスに関わる研修会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
7月18日	7月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
8月24日	8月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所

9 月 19 日	9 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
9 月 21 日	インボイス制度説明会（Zoom 会議） （(株) サンアリックス）	熊野市 SC 事務所
9 月 22 日	令和 5 年度安全・適正就業パトロール（紀宝町）	紀宝町 SC 事務所
10 月 17 日	1 0 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
10 月 24 日	経理事務担当者研修会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
10 月 27 日	第 2 回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
11 月 21 日	1 1 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
11 月 22 日	令和 5 年度理事長研修会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
11 月 29 日	契約方法の見直しに係る会計・税務処理上の訪問コンサルティング（オンライン）	熊野市 SC 事務所
12 月 19 日	1 2 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
1 月 18 日	1 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
1 月 19 日	派遣事業に関する研修会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
2 月 20 日	2 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
2 月 22 日	第 3 回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
3 月 6 日	第 4 回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
3 月 19 日	3 月度安全衛生委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所

2 会員の拡大

（１）熊野市の総人口（令和 6 年 3 月末現在）は、15,110 人（男性 6,973 人、女性 8,137 人）で、その内、60 歳以上の人口は、7,888 人（男性 3,355 人、女性 4,533 人）、人口に占める割合は約 52.20%となっていますが、会員

数の割合はわずか約1.27%の状況です。

- (2) 会員数（令和6年3月末現在）は100名で、年度内に加入した会員は10名、退会及び資格喪失による会員は17名で7名の減になりました。

入会した10名の会員の理由につきましては、生きがい・社会参加6名、経済的理由3名、時間的余裕1名でした。

また、退会及び資格喪失会員17名の理由につきましては、死亡2名、病気等の健康上の理由7名、その他で就業1名、加齢2名、その他5名でした。

- (3) 会員構成では、70歳以上74歳以下は34.0%で最も多く、続いて75歳以上79歳以下は29.0%、65歳以上69歳以下は20.0%の順となっています。特に、70歳以上の会員は全体で72%を占めており、会員の高齢化が進んでいます。

- (4) 会員の平均年齢では男性72.7歳、女性72.6歳、全体で72.7歳となっています。これは前年度と比較して男性では変わりありませんが、女性では0.8ポイント下降し、全体では0.4ポイント下降しています。

最高年齢の会員は男性で86歳、女性83歳となっています。

- (5) 「一人一会員入会」運動の推進や入会相談を事務所において随時行ってまいりました。

また、三重県シルバー人材センター連合会による会員募集の広報活動や広報くまの等への会員の募集についての広報をしたことにより、電話による問い合わせなどがあり、新規の入会につなげることができました。

<会員数>

性別 \ 期間	年度当初	動 向		5年度末日	増 減
		入会	退会		
男	78	8	10	76	△2
女	29	2	7	24	△5
計	107	10	17	100	△7

<会員構成>

性別 \ 区分	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80歳 以上	計	比率 (%)
男	5	15	29	21	6	76	76.0
女	3	5	5	8	3	24	24.0
計	8	20	34	29	9	100	100
比率 (%)	8.0	20.0	34.0	29.0	9.0	100	—

3 就業機会の開拓と提供

- (1) 令和5年度の全体の契約件数は、885件で前年度より66件少なく、受注契約金額についても民間（個人、事業所）等からの受注件数が減ったことにより昨年度と比

較して495,849円減少しました。主な要因は、草刈り、草抜き、剪定等の作業を
請け負う会員が不足していたことにより契約件数が伸びなかったことによるものです。

派遣業務については、企業等が少ない当地区は他市町と比べると派遣契約金額は全
体の約4.0%と非常に低い結果となっており、当地域の特色を表しています。

(2) 就業機会の提供の指標となる就業率は75.0%で、前年度より6.3ポイント下回
りました。未就業会員に対し電話等で仕事の照会も行いましたが、結果的に就業につ
ながらないといったケースもありました。

○令和5年度契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額（単位：円）			
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	派 遣 (民 間)	合 計
4	58	50	378	573,840	1,036,863	108,070	1,718,773
5	73	60	455	783,833	1,389,152	128,334	2,301,319
6	97	66	599	1,099,635	2,052,352	135,088	3,287,075
7	137	67	648	1,285,988	2,480,093	81,052	3,847,133
8	60	68	446	999,781	1,438,767	0	2,438,548
9	110	68	609	1,049,902	2,344,428	121,579	3,515,909
10	114	71	659	1,133,630	2,637,498	140,368	3,911,496
11	86	72	579	1,006,878	2,164,959	126,331	3,298,168
12	98	73	543	685,173	2,265,630	101,767	3,052,570
1	17	74	358	793,916	840,754	112,294	1,746,964
2	20	74	359	608,744	996,540	133,350	1,738,634
3	15	75	356	721,922	868,941	98,257	1,689,120
合計	885 (951)	—	5,989 (6,278)	10,743,242 (10,683,463)	20,515,977 (21,119,061)	1,286,490 (1,239,034)	32,545,709 (33,041,558)
差	△66	—	△289	59,779	△603,084	47,456	△495,849

(注) ① 表中()内は前年度実績

② 公共：民間：派遣＝33.0：63.0：4.0 (%)

4 安全・適正就業の推進と徹底

(1) 安全就業については事故ゼロを目指して会員の安全意識を高めいただくためにシ
ルバーだより、チラシ等により周知を行い、センターが受注した請負業務については
会員一人一人が安全に就業していただけるように心掛けて取り組んでまいりました。

(2) 作業中による事故の発生件数については、重篤事故の発生はありませんでしたが、
剪定及び草刈り作業中に蜂に刺された傷害事故2件、草刈り作業中に水道管破損の賠
償事故2件が発生しました。事故を未然に防ぐことできたケースもあり、会員への一
層の周知徹底が必要です。

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
平成 2 5 年度	2	6	8
2 6 年度	4	4	8
2 7 年度	1	2	3
2 8 年度	3	2	5
2 9 年度	3	1	4
3 0 年度	2	2	4
令和 元年度	2	0	2
2 年度	1	1	2
3 年度	4	0	4
4 年度	2	5	7
5 年度	2	2	4

- (3) 安全・適正就業委員会を開催し、事故発生状況を説明しながら防止策等について議論を行いました。
- (4) 適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、一人の会員に仕事が偏らないようにワークシェアリングを推進して、会員の希望に応じてできるだけ平等に仕事を振り分けるよう取り組みました。

5 普及啓発活動

(1) シルバー人材センター事業普及・啓発活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」における「シルバーの日」のボランティア活動については、シルバー人材センター事業を広く市民にアピールし、事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流の輪を広げることを目的に、10月21日土曜日に山崎運動公園において草刈り・剪定・草抜き等の奉仕作業を行いました。コロナ禍の影響から4年ぶりの実施となり24名の参加がありました。

市内全域への啓発活動として「広報くまの」への記事の掲載やポスターの掲示等の普及啓発活動を行いました。

(2) 「熊野シルバーだより」の発行

会員の皆様に読み親しまれる広報紙として、年2回（10月・1月）発行しました。引き続き、より充実した内容の「熊野シルバーだより」の発行を目指してまいります。

6 会員の福利厚生

社会参加の輪を広げ、健康と生きがいを基調に会員相互の親睦と連帯意識の高揚、福祉の増進を図ることを目的に組織されている会員互助会の活動に支援を行ってまいりましたが、コロナ禍の影響もあり、総会員数100名のうち互助会員数が10名にまで減少し今後の運営が難しくなったため、本年3月10日をもって会員の皆様の同意の上会員互助会を解散しました。